令和元年度

インターンシップ専門人材セミナー　～基礎編～

# 【１日目】

# パネルディスカッション資料

## 静岡大学について

静岡大学は、旧制の静岡高等学校、静岡第一師範学校、静岡第二師範学校、静岡青年師範学校、浜松工業専門学校（旧浜松高等工業学校）の統合（1949 年）と静岡県立農科大学の移管（1951 年）を経て国立大学として設立され、2004年に国立大学法人化。静岡市と浜松市にキャンパスがある。

出典：静岡県ホームページ　企業立地ガイド

浜松キャンパス

工学部
情報学部

理念

自由啓発

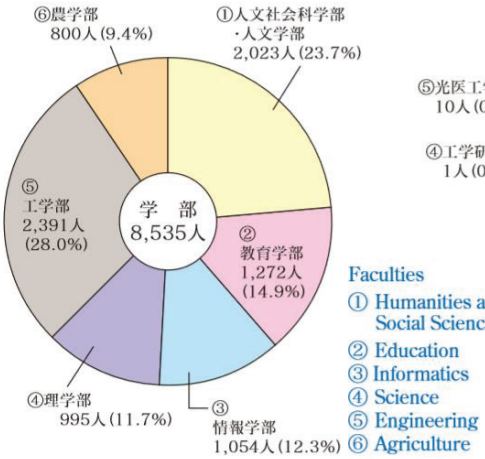
未来創成

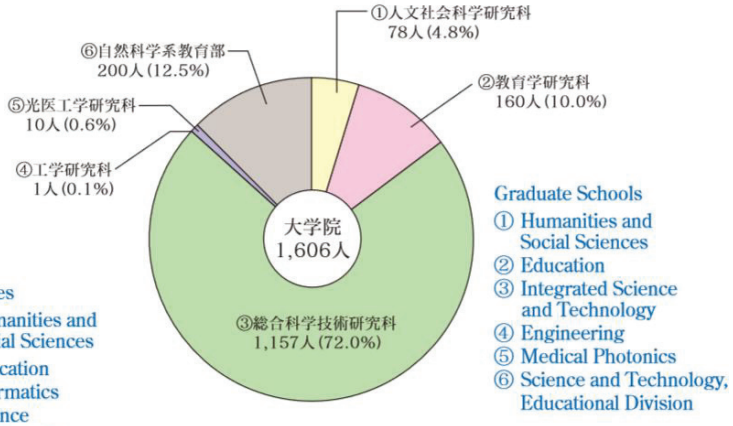
静岡キャンパス

人文社会科学部
教育学部
理学部
農学部
地域創造学環

## 静岡大学について

学部学生数　8,535名　　大学院学生数　1,606名　　（2019年5月1日現在）




※地域創造学環（201）は各学部に含む

| キャンパス Campus | 学部生 Undergraduate Students | 大学院生 Graduate Students | 合　計 Total |
|---|---|---|---|
| 静岡キャンパス Shizuoka Campus | 5,130 | 627 | 5,757 |
| 浜松キャンパス Hamamatsu Campus | 3,405 | 979 | 4,384 |
| 合　計 Total | 8,535 | 1,606 | 10,141 |

静岡大学『大学概要2019年度版』

## 静岡大学　主なインターンシップ科目の概要

| | 人文社会科学部 | 理学部 | 農学部 | 地域創造学環 | 情報学部 | 工学部 | （学際科目） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 単位数 | 2単位 | 1単位 | 2単位 | 2単位 | 情報科学科 2単位<br>行動情報・情報社会学科　2単位/1単位 | 1単位 | 2単位 |
| 必要実習時間目安 | 40時間<br>（30時間＋10時間まとめ） | 30時間 | 30時間 | 2年：30時間<br>3年：50時間 | 2単位：80時間以上<br>（70＋10時間まとめ）<br>1単位：上記の半分目安 | 35時間以上 | 30時間 |
| 履修条件（右のうち学部ごとに選択） | ①全学インターンシップガイダンス参加　②学部での説明会参加　③事前研修会参加<br>④事前レポート提出　⑤参加計画届提出　⑥必要時間数以上のインターンシップ参加<br>⑦事後研修会参加　⑧レポート提出　⑨事後研修会参加　⑩成果報告会参加 | | | | | | 9コマ分の講義＋実習 |
| 主な実習先 | 全国の自治体<br>企業（業種不問）<br>士業事務所 | 企業（製造業、技術系が多い） | 全国の自治体<br>企業（食品、材料系が多い） | 2年：静岡ロータリークラブ会員企業<br>3年：県内の自治体、企業が多い | 企業（情報、金融、運輸、製造） | 企業（製造業、技術系が多い） | 学生の志向や興味により個別に調整（企業やNPO等） |
| 大学院進学率 | 5％程度 | 40-45％程度 | 40-50％程度 | ― | 25-30％程度 | 60-65％程度 | ― |

## インターンシップ指導・支援の流れと学生の動き

**主に学部3年・修士1年**

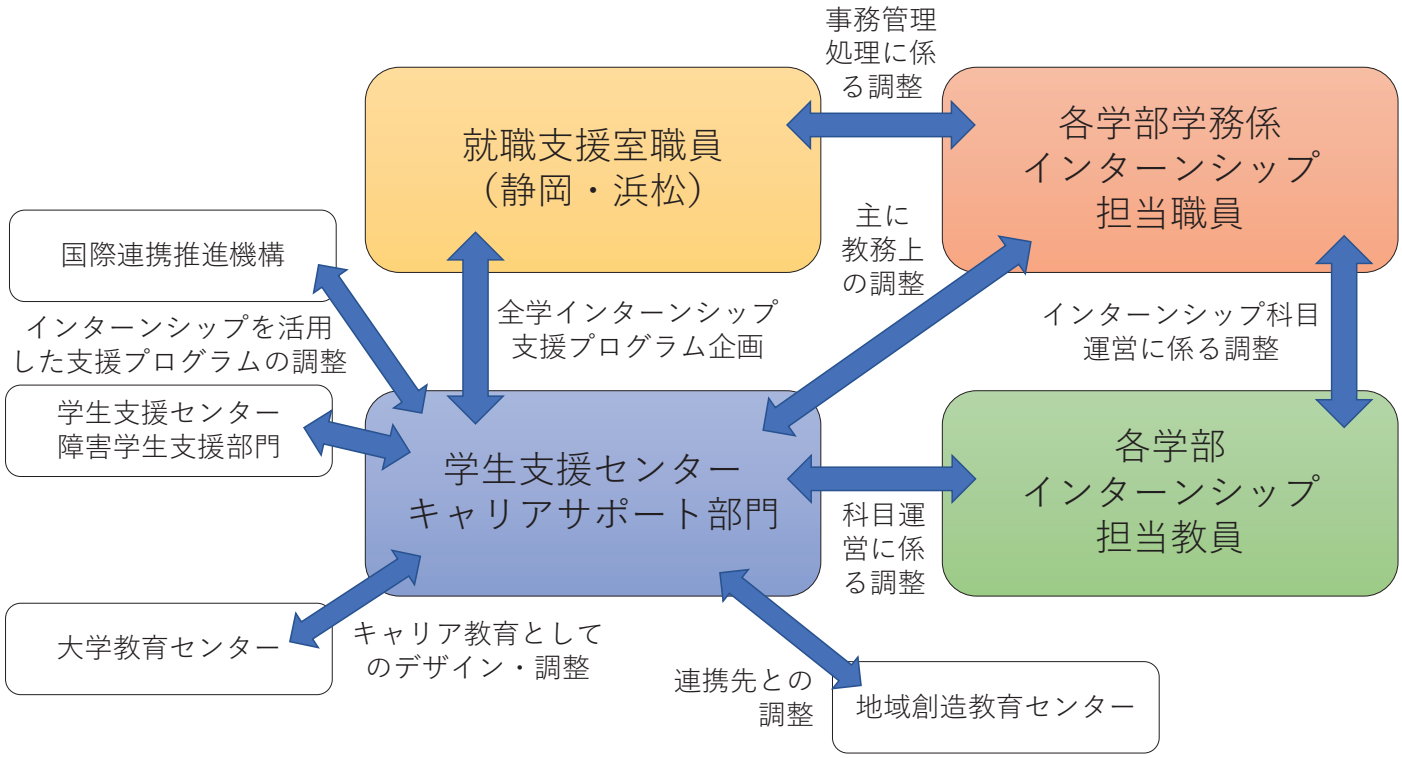
- 4月　**全学インターンシップガイダンス**
  インターンシップの概要、成果の生かし方
- 5月　**各学部インターンシップ説明会**
  インターンシップ科目の履修方法など
- 6月　**学内でのマッチング会**
- 7月　**インターンシップ事前研修会**
  参加の目標立てと社会人とのコミュニケーション
- 8・9月　8月上旬前期試験終了　10月1日後期授業開始
  （9月16日～9月30日まで集中講義期間）
- 10月　**インターンシップ成果報告会・事後研修会**
  成果や気づきのまとめ、報告

- 理解：就職活動とのつながりも含めたインターンシップの状況を知り、必要な手続きを理解する
- 情報収集検索応募：各学部等で開講されるインターンシップの流れを確認する
  学内外のインターンシップ募集情報に触れるとともに、学内外で開催されるマッチング会へ参加し、インターンシップ先を探す
- 参加：ゼミや実験、集中講義、課外活動の予定なども考慮しながらインターンシップ先を選び、参加する（事前届け出）
- 整理：インターンシップでの体験や気づきを振り返りながら整理し、今後の学習や研究、進路選択に生かしていく

**学部1・2年**

- 1月　**ワークラリーしずおかインターンシップマッチング会・事前研修会**
  学部1・2年生向け仕事観察（ジョブシャドウ）プログラム
- 2・3月　2月上旬後期試験終了
  春休み期間でのワークラリーしずおかインターンシップに参加

## インターンシップに関わるスタッフとのやりとり（主観的ポンチ絵）




## 昨年度までに構築した主なインターンシップ・プログラム

| | | |
|---|---|---|
| 地域創造学環専門科目<br>「地域創造インターンシップⅠ」 | 静岡ロータリークラブ | 社会で求められる「コミュニケーション」「チームワーク」等について調べ学習、グループ討議を経て仮説立て、実習先での検証を目的とした実習、ポスター発表 |
| 理学部専門科目<br>「サイエンスイノベーション実習」 | 静岡県内企業14社 | 基礎科学と社会との接点となる「イノベーション」「アルゴリズム」などのカテゴリ別に実習先を選択、実習を通して学びとの関係についてレポートまとめ |
| クロスボーダー型インターンシップ | 藍澤證券 | 地域・業種を跨ぐ企業での体験、証券業務を通した企業理解によりグループで提案（内閣府「金融機関による地方創生『特徴的な取組事例』」表彰） |
| 商談実務体験インターンシップ | 静岡信用金庫、焼津信用金庫、静清信用金庫、島田信用金庫 | 信用金庫主催の商談会に出展する中小企業での実習、実習をもとに商談会で販売体験、レポートまとめ |
| 商店街連携インターンシップ | 静岡市鷹匠一丁目商業発展会 | 商店街振興に関する行政の講義、商店街役員会参加、個店での実習、商店街イベントの運営、商店街・行政への提案 |
| らぶしずインターンシップ | I Loveしずおか協議会 | 4か月間、社会人と学生がチームを組み、クリスマス市街地活性イベント企画、運営 |
| ワークラリーしずおかインターンシップ | 静岡県庁雇用推進課、ふじのくに地域・大学コンソーシアム | 1・2年生対象ジョブシャドウイングによる複数社での仕事観察体験、成果シートでのまとめ |
| 戦力補強型長期有償インターンシップ | クレディセゾン、ループドライブ | 正社員の手が回らない業務を専門技能を使って2か月間体験、新入社員と同じ人事評価によるフィードバック |
| IT業界研究インターンシップ | 静岡情報産業協会 | IT業界4社を1日ずつ業務体験、異なる業務によりIT業界の流れを理解、最終日に発表 |

## インターンシップを「探究学習機会」として活用する（例：地力発掘型インターンシップ）

自主学習（レポート）として
テーマに関する文献を参考に
考察する

事前学習（グループワーク）で企業講師
によるレクチャや他者の意見も取り入れ、
テーマをより多角的に
捉える

社会とのかかわりで
必要となる力を
体験に基づき、自分の
言葉で表現する

自分なりの定義づけ

（仮説）企業で必要な〇〇とは
「　　」なのではないか？

インターンシップで
仮説を検証（実証）

テーマに対する仮
説と検証（実証）
成果を自分の言葉
で報告発表する

学生の「知的成長」が
企業の魅力を引き出す

これらのイラストはフリー素材の「いらすとや」
（https://www.irasutoya.com/）から使用しています

## 事前・事後研修で社会人アドバイザーを活用する

### 研修実施の背景

学生はインターンシップへの関心は高まっているものの、多くの学生がインターンシップでの気づきや学びを就職活動やその後の学生生活に生かすことが出来ていない。
「インターンシップ後にどうなっていたいのか」という目標がないまま参加すると、インターンシップが自分にとってどういう成果があったのか気づかないまま、記憶から消えてしまう（その時の高揚感や達成感だけで終わってしまう）。
自己評価できる目標立てが望ましいが、学生によって質のバラツキが見られる。

→ 他者からの質問や指摘をきっかけに、目標をより良いものにしたい

### 「社会人アドバイザー」の背景

公務員か民間企業か、迷っている。インターンシップに参加することで決め手になることが得られればよいが見つかるだろうか…

希望業界と言われてもまだ漠然としている。そもそもどんな職場が自分に合っているのか分からない。

失敗したらどうしよう／社会人とのコミュニケーションに不安がある。職場でうまくできるかとても心配…

→ 参加前の本音トークで、学生の不安を軽減したい

SHOHOKU

# 令和元年度
# インターンシップ専門人材セミナー
## ～基礎編～

学校法人ソニー学園 湘北短期大学
インターンシップセンター
オフィスコーディネーター 小島 裕子

SHOHOKU

## 湘北短期大学

在籍学生数 1,060名

### 総合ビジネス・情報学科

- ビジネス情報
- 経理・金融
- ショップマネジメント
- オフィスワーク
- 観光ビジネス
- 情報（ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ、ﾒﾃﾞｨｱﾃﾞｻﾞｲﾝ）

### 生活プロデュース学科

- ファッション
- インテリアデザイン
- フード
- 子どもサービス
- 医療事務・情報

### 保育学科

# 湘北短期大学

SHOHOKU

## 春季インターンシップ（短期）・（長期）

【取組概要】

✔学内で学生の選考は一切行わず、希望した学生は全員参加させている。2017年の参加学生数は338人で、在籍学生におけるインターンシップ参加学生の割合は97.4％と高水準になっている。

✔インターンシップ関連業務を担当するオフィスコーディネーターを配置し、学生指導と実習先企業や団体との交渉等を行っており、教員が研究と並行して学生教育により時間を注ぐことを可能にしている。

**評価のポイント**　低学年　希望者全員参加　充実した実施体制

●新入生のほとんどがインターンシップに参加しており、**多数かつ多様な学生をインターンシップに送り出すことを可能とするような体制を構築**しているとともに、企業における若手社員育成も意識して、さらに他社への事例共有を行うことで、企業からの協力を引き出す工夫を行っている。

●**事前学習授業「インターンシップリテラシー」**の一環として、学生によるプレゼンテーション・面接・フィードバックを実施し、インターンシップの教育的効果を高める工夫を行っている。さらに、先輩経験者を活用することで、双方の学生にとって効果的なモニタリングを実施している。

●評価のポイント③全学組織として「インターンシップ センター」を設置するとともに、**専任職員であるコーディネータを配置するなど、充実した実施体制**を構築している。さらに、全学の教職員を対象に、組織的な取組に関するFD・SD研修を通年で実施している。また、インターンシップの担当以外の教員も実習先を訪問することで、教員自身が、大学教育に対する社会からのニーズを理解する機会にもなっている。

【基本データ】　※平成29年度実績

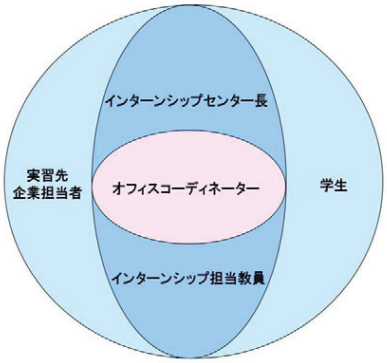
✔インターンシップ参加者数 / 338人

✔受入企業等数 / 132社

（ソニー、JTBコーポレートセールス、野村證券、三越伊勢丹、厚木商工会議所、他）

✔実施年次 / 1年次【選択】

「湘北インターンシップ」を支えるオフィスコーディネーターの機能イメージ




球体の中心部分にオフィスコーディネーターが存在し、実習先企業の担当者や学生が回転しながら(状況に応じて動きながら)、インターンシップセンター長や担当教員等と協働するイメージ図である。オフィスコーディネーターが軸となっているため、周囲の動きは安定し、問題が発生してもオフィスコーディネーターを介して迅速な対応が可能となる。

1

SHOHOKU

# 「大学等におけるインターンシップ表彰」
## －評価ポイント①－

**希望者は全員参加。多数かつ多様な学生を送り出すことを可能にする体制を構築**

**インターンシップを本当に必要としている学生のためのインターンシップ！**

・企業開拓は必ず自分の目で確認

・学生、企業双方にメリットのあるプログラム開発

2018年度実績

✿学生参加率：99,2％（延べ643人）

✿実習先企業数：123社（175拠点）

2

SHOHOKU

# 「大学等におけるインターンシップ表彰」
## –評価ポイント②–

### 事前学習授業の充実

- 90分15コマの事前・事後学習
- オリジナルテキストの執筆でサポート
- メールトレーニングでコミュニケーション
- 効果的なクラス編成、教員配置を考える

3

SHOHOKU

# 「大学等におけるインターンシップ表彰」
## –評価ポイント③–

### 専任職員であるコーディネーターを配置し充実した実施体制の構築

- インターンシップセンターサポートオフィスに学生が集まる仕掛けづくり
- メンタルケア（１人も取りこぼさない）
- マッチング(「一人ひとりに合った」ではなく、「その学生に一番学びとなる」実習先を選ぶ）

4

# 専門人材としての役割 －まとめ ①－

知る → 関わる → 向き合う

**信頼関係構築**

＊関わりが大きいほど教育的効果が高い





# 専門人材としての役割 －まとめ ②－

＊専門人材の大きな役割は

**情報ハブ**

としての機能

# 優秀賞受賞！ SHOHOKU INTERNSHIP

学校法人ソニー学園
湘北短期大学

## 文部科学省「大学等におけるインターンシップ表彰」

**徹底支援**

- ☑ インターンシップ参加率 99.2%
- ☑ 15回の事前学習授業で徹底指導
- ☑ オフィスコーディネーターがサポート

●グループワーク

●プレゼンテーション

●2年生による面接

●コーディネーターに気軽に相談

**4月 Point1** ●新入生の 99.2%がインターンシップ科目を履修
新入生全員にインターンシップ参加を促す

**7月 Point2** ●大学以外の場でアクティヴに学ぶ
インターンシッププログラムの一環として、
企業の各種イベントに、1年生がアシスタントとして参加

**8月 Point3** ●大学の窓口が一本化されて、企業と相談・交渉がしやすい
オフィスコーディネーターが各企業に対して、
今年度の実習生受け入れ依頼を開始

**9月** ☑ 事前学習科目「インターンシップリテラシー」開始

**10月 Point4** ●２年生が面接官やアドバイザーとなることでモチベーションアップ！
「プレゼンテーション面接」
〈プレゼンテーション→面接→フィードバック〉に1年生全員が取り組む

**11月 Point5** ●学生ひとりひとりの適性や希望を十分に考えて
インターンシップ担当教員10人＋オフィスコーディネーター1人の
計11人で、1年生374人の実習先を検討・決定

**Point6** ●学生と企業担当者の双方から好評
インターンシップ担当の有無に関わらず、
全教員がインターンシップ先175拠点を分担訪問

オリジナルテキスト

**1月** ☑ 事前学習科目「インターンシップリテラシー」終了

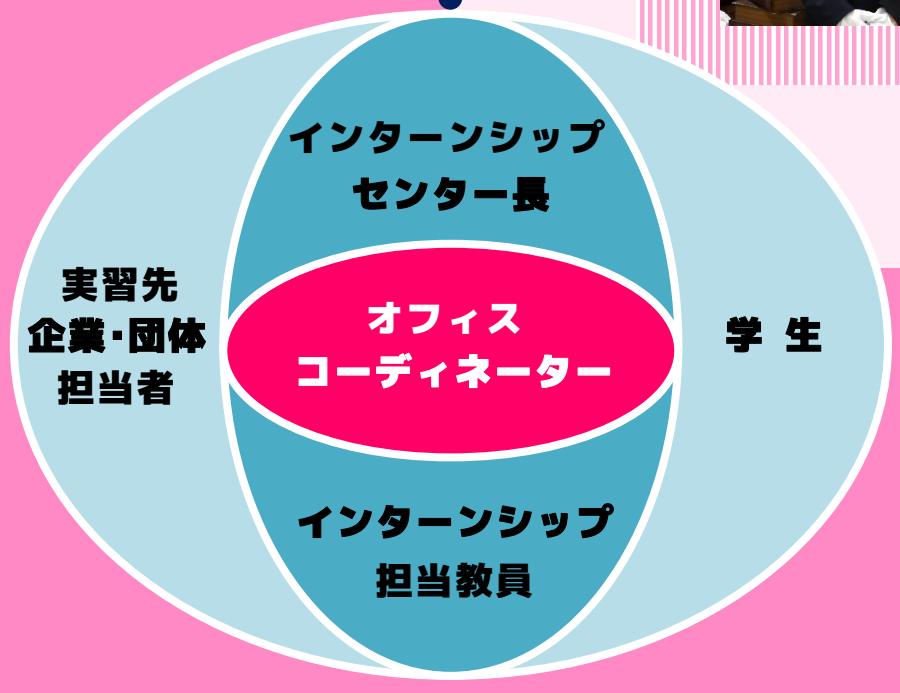
**2月**

### 準備 OK！インターンシップ スタート！

**3月**

- ☑ 最終課題 1：事後レポート
- ☑ 最終課題 2：事後プレゼンテーション

**機能イメージ図**



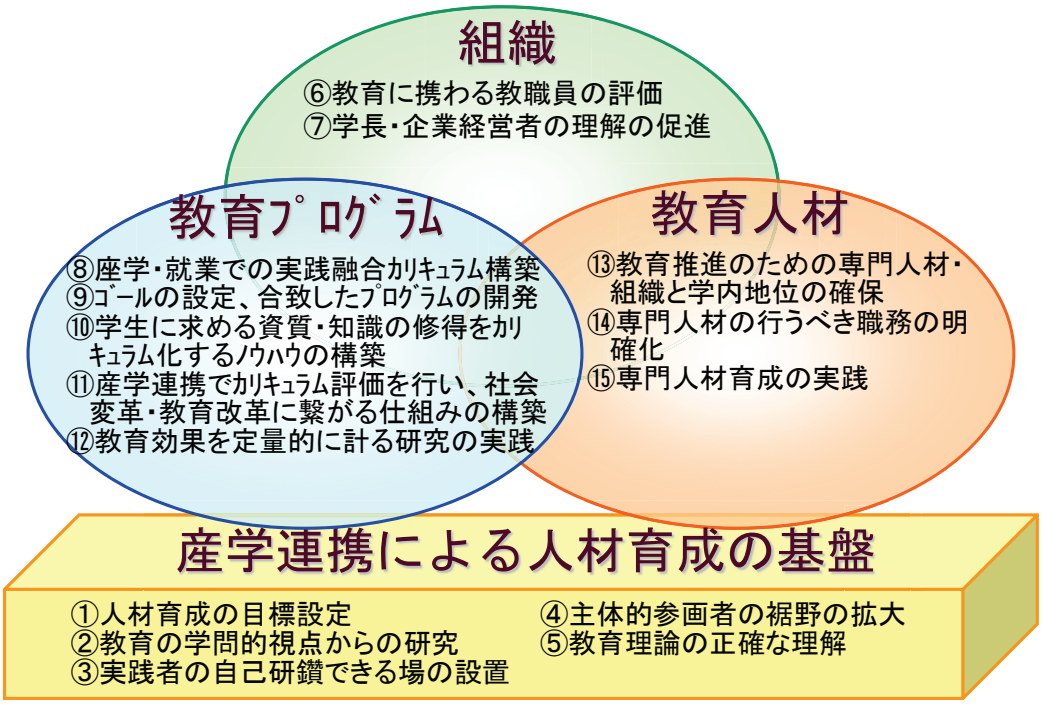

### 徹底サポート！の秘訣は、この構図にある

球体の中心部分にオフィスコーディネーターが存在し、実習先企業の担当者や学生が回転しながら、インターンシップセンター長や担当教員等と協働するイメージ図。
オフィスコーディネーターが軸となっているため、周囲の動きは安定し、問題が発生してもオフィスコーディネーターを介して迅速な対応が可能に。

SONY INSTITUTE OF HIGHER EDUCATION SHOHOKU COLLEGE

# パネルディスカッション
# 参考資料

## 1 インターンシップ・コーオプ教育を担う“人”と“組織”




出展：インターンシップ産学連携教育白書

## 2 学内浸透化と理解 （建学の精神から授業に至るまでの目的・手段連鎖）

フィードバック・教育の質向上[卒業時における質確保のため]P・D・C・A

将来の社会を担って立つ人材

建学の精神・教学の理念

AP・CP・DP 3つのポリシー

学位授与方針

各センター・学部
（授業科目所轄部署）
教育目標

カリキュラム

シラバス

授業

**教育基本方針**
**（大学が保証する《学士力》） 参考**
◇世界をフィールドに活躍する**リーダー**を養成する
◇最先端の高度な**専門力**と幅広い**教養**を育む
◇豊かな**感性**と柔軟な**発想力・適応力**を培う
◇実社会と密接に連携し、**即戦力**を養う

就業力：社会で生き抜く力＝企業等の存続、成長のため、仕事の変化に対応できる力

学んだ**知識**を組織や地域社会で**活かす力**
**《社会人基礎力》**
前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力

**シラバスの役割** **授業目的、授業計画・内容、到達目標、身に付く力、評価方法、教材等**
◇対学生 ・学生が履修を決める際の資料
・学生が授業の準備学習等を進めるための基本
・学生による授業評価
◇教員相互間 ・教員相互の授業内容の調整
（中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」（用語解説）、2008年12月24日）

## 3 インターンシップとコーオプ教育

**コーオプ教育は質の高い教育を実現するための一手段**

**◇日本の場合**
・気づき
・学び
**◇北米の場合**
・本格的なキャリア探し
・学期中の財政源
・職業上の縁故、将来の身元保証人
・専門的な設備利用、専門情報へのアクセス
・経験のない職場体験
・すでに習得した考え方や理論を活用する機会

学 生　受入機関
インターンシップ
企業等主導型

**◇日本の場合**
・大学とのお付合い？
・学生をお客あつかい？
**◇北米の場合**
・有能な非正規人材
・大学との関係の密接化
・正規従業員の有効配置
・コーオプ学生による臨時プロジェクトの実施、完成

コーオプ教育 大学主導型

学 生

大 学 ⇔ 受入機関
（企業・行政 等）

Co-op教育・・・定義
教室での学習と、学生の学問上・職業上の目標に関係する分野での有益な職業体験とを統合する、組織化された教育**戦略**。これにより理論と実践を結びつける漸進的な経験を提供する。コーオプ教育は学生、教育機関、雇用主間の連携活動であり、当事者それぞれが固有の責任を負う。
National Commission for Cooperative Education
（NCCE：全米コーオプ教育委員会）（NPO法人 WIL訳）

## 4 文部科学省　インターンシップ表彰制度

### 大学等におけるインターンシップ表彰

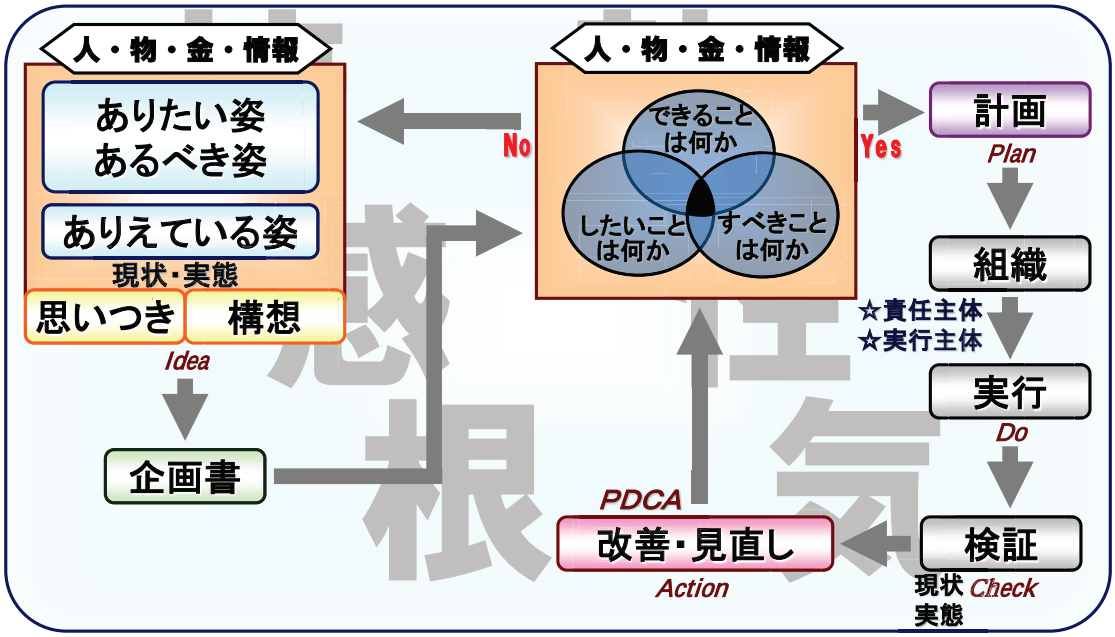
**目的**

学生の能力伸長に寄与するなどの**高い教育的効果を発揮**しており、他の大学等や企業に**普及するのに相応しいモデルとなり得るインターンシップ**を、**グッドプラクティスとして文部科学大臣が表彰**し、**その成果を広く普及**する。

公募期間：平成30年8月15日～9月21日
対象資格：「大学等におけるインターンシップの届出制度」における取組を実施している大学・短期大学・高等専門学校
申 請 数 ：７７校（大学：６８校、短期大学：５校、高等専門学校４校）
賞の構成：最優秀賞（1件）、選考委員会特別賞（1件）、優秀賞（6件）※12月10日表彰式を開催

**大学等におけるインターンシップ表彰選考基準・項目**

① **就業体験を伴うこと**
② **正規の教育課程の中に位置付けられていること**
③ **大学等の組織的な取組として位置づけられていること**
④ **インターンシップ実施後の教育的効果を把握する仕組みが取られていること**
⑤ **5日間以上のインターンシップの実施期間が確保されていること**
⑥ **大学等と企業等が協働した取組となっていること**

取組の独自性や工夫を確認するとともに、グッドプラクティスの普及を図るべく、学校種や規模、地域、学問分野のバランス、受講者数にも留意し、書面と面接による選考を実施した。それらを総合的に判断し、今回、優秀賞1件、選考委員会特別賞1件、優秀賞6件の合計8つの取組を選考するに至った。
（ 大学等におけるインターンシップ表彰選考委員会所見より）

## 5 人と組織企画～実行～検証(PDCA)運・鈍・根≒熱・感・根